

「加茂市の少子化の要因分析と取り組むべき課題について」

新潟県加茂市 企画財政課・こども未来課



新潟県加茂市

加茂市の概況

加茂市の紹介

項目	概要
担当部署／協力部署	企画財政課／こども未来課
人口	27,852人（2015年）→ 17,644／15,703人（2040/45年推計人口）
合計特殊出生率（2013-2017年）	1.28
有配偶率（2015年）	58.62%（国勢調査）
有配偶出生率（2015年）	65.76（単位：対1,000人、時点：H27年）
面積	133.72km ²
主要産業	農業（米・果実（なし・もも・ぶどう・ルレクチエ））、電気機器製造業、木工業（桐たんす、組子、屏風等）



1. これまでの取り組みとモデル事業への参加の動機

●これまでの少子化対策の取り組み

ターゲット	対策例	加茂市の取り組み（R3年実施済み）
未婚の若者	雇用対策	・ 新規高卒求人説明会
	結婚支援	・ 県が運営するマッチングサイトの登録料助成
すべての子育て世帯	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	・ 子育て世代包括支援センターの運営
	妊娠を希望する夫婦への経済的支援	・ 不妊治療費助成
	特に子どもを多く産み・育てる家庭に対する経済的支援	・ 出産祝い金
	高等教育までの教育費負担の軽減	・ 奨学金貸付（高校生以上）
	子どもの医療費負担の軽減	・ 子どもの医療費助成
「夫がもっぱら稼ぎ、妻がもっぱら家事・育児の」夫婦	子育て広場・低廉な一時保育の充実	・ 乳幼児遊びの広場の運営（須田・上条）
	子育てにおける孤立防止	・ 乳幼児遊びの広場での相談業務の実施 ・ 産後サポート事業（親子ふれあい広場）
正規雇用者同士の共働き夫婦	保育対策	・ 病児・病後児保育園の運営

1. これまでの取り組みとモデル事業への参加の動機

●モデル事業に参加した動機

1.出生率が低い（県内ワースト2位）

2.女性未婚率が高い（県内ワースト2位）

※国勢調査による。新潟県内30市町村

しかも昔から（1966-70年生まれの人が20歳代のころ：今51-55歳の人）
今も（1986-1990年生まれの人が20歳代のころ：今31-35歳の人）それが続いている。

モデル事業を通して、

- **なぜ加茂市の出生率が低く、女性未婚率が高いのか、その要因を分析する**
- **目標を設定し、課題を抽出して取り組むことで、少子化に歯止めをかけたい**

2. モデル事業で取り組んだことの概要

(1) データ分析

- 地域評価指標、国勢調査など客観的なデータによる加茂市の強み・弱みを分析

(2) アンケート

- 出生率：子育て世帯に加茂市での子育てに対する意識調査

(3) ヒアリング

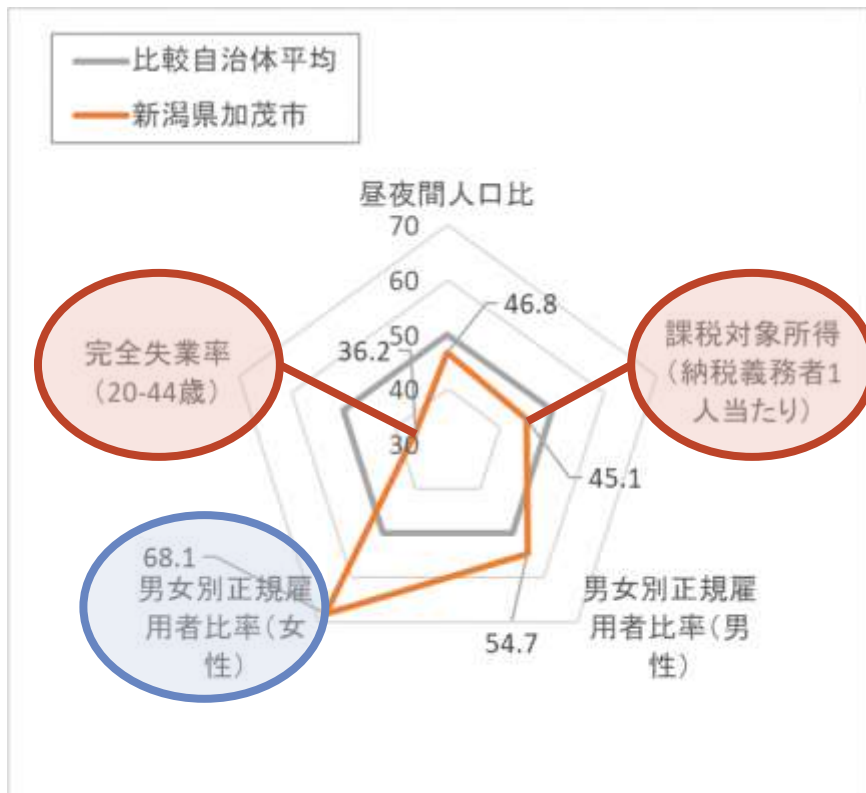
- アンケートで足りない部分を事業主、職員にヒアリングを実施

3. モデル事業でわかったこと

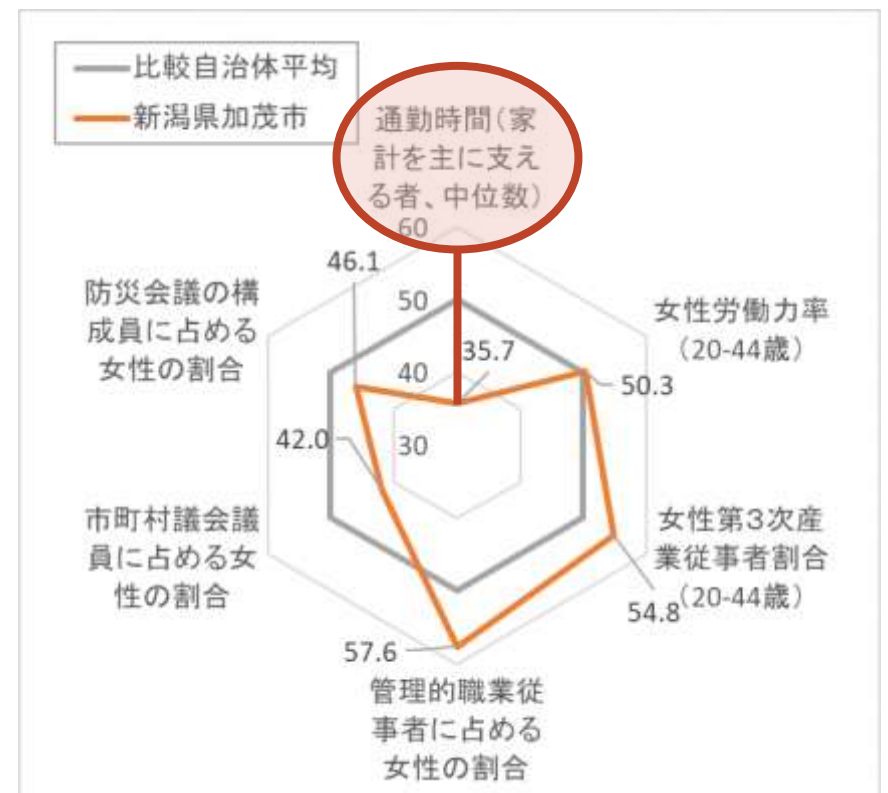
(1) データ分析

加茂市のデータを分析すると、働き方、経済・雇用に課題がありそうなことが分かった。

【経済・雇用】



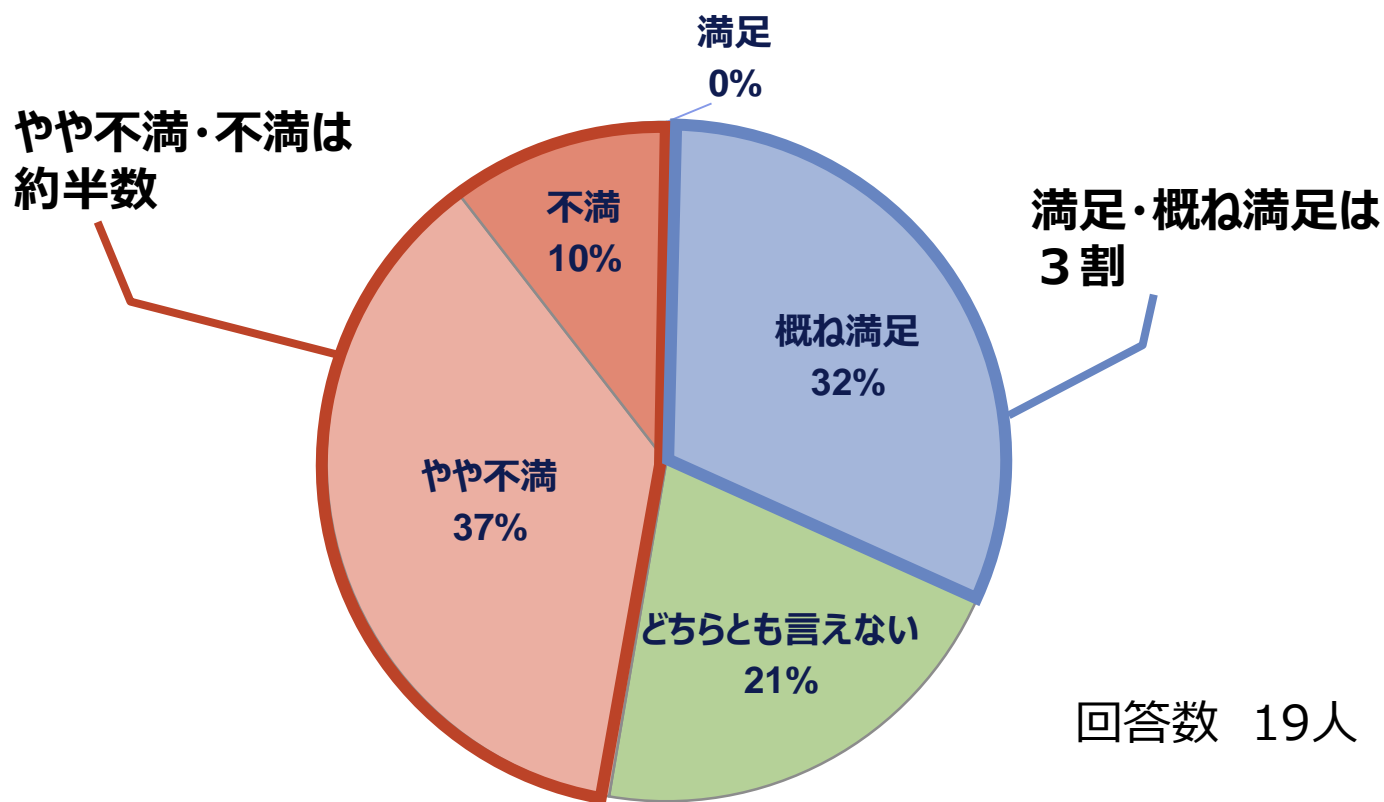
【働き方・男女共同参画】



3. モデル事業でわかったこと

(2) アンケート（子育て）

加茂市での子育て満足度



「子育て世帯へのアンケート調査」、令和3年度調査

3. モデル事業でわかったこと

(2) アンケート（子育て）

加茂市内の子育て世帯の就業状況（総世帯数：9,634世帯）

0~18歳の子どもがいる夫婦世帯 1,927世帯

夫が就業している世帯数 1,886世帯

妻が就業（80%）

1,532

妻が非就業（18%）

354

3. モデル事業でわかったこと

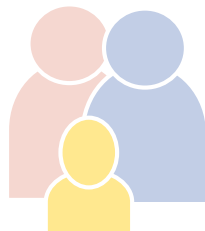
(3) アンケート・インタビューによる分析

加茂市での子育てで、満足しているところ、不満だと思うところ、ハードルになっているところ

分野	意見	取組
賑わい・生活環境	<ul style="list-style-type: none">● 子どもの衣料品や学用品を買えるお店が少ない	<ul style="list-style-type: none">• お店の誘致
家族・住生活	<ul style="list-style-type: none">● 自然など環境が良い● きれいな公園や、体を動かせる運動公園の整備● 子どもが遊んだり、運動したり、勉強する場所が少ない	<ul style="list-style-type: none">• 自然を維持する取組• 公園の整備
地域・コミュニティ	—	
医療・保健環境	<ul style="list-style-type: none">● 夜間・休日に行ける医療が少ない● 2子、3子の出産のとき、産科がない	<ul style="list-style-type: none">• 県立病院の充実を要望する
子育てサービス支援	<ul style="list-style-type: none">● 学童クラブなど子どもを預けられる施設・サービスの充実（特に、小学校高学年、長期休みなど）● 急用や親の具合が悪い時に、預けられる施設・サービスの充実	<ul style="list-style-type: none">• 保育（預かり）サービスの向上• 病児・病後児保育園のサービス向上
働き方・男女共同参画	<ul style="list-style-type: none">● 子育てで自分の仕事に影響が出る● 共働き家庭が子育てしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none">• 保育（預かり）サービスの向上
経済・雇用	<ul style="list-style-type: none">● 子育てや教育にお金がかかる● 医療費助成など助成や補助金（満足・不満両方の意見がある）	<ul style="list-style-type: none">• 経済的な支援

4. 調査結果のまとめ

子育て世帯



加茂市出身



加茂市以外出身

加茂市に住む理由

- 妻・夫の実家があるから
- 職場が加茂市内
- 市外の職場へ通いやすいから

- 県の中央にあるので、転勤しても職場に通いやすいから
- 妻・夫の勤務先の間地点

働き方

- 子育て世帯の8割は共働き
- 働く人の半数は市外へ通勤。7割は三条市、新潟市へ通勤。

- 夫婦ともに転勤が多い

子育て環境

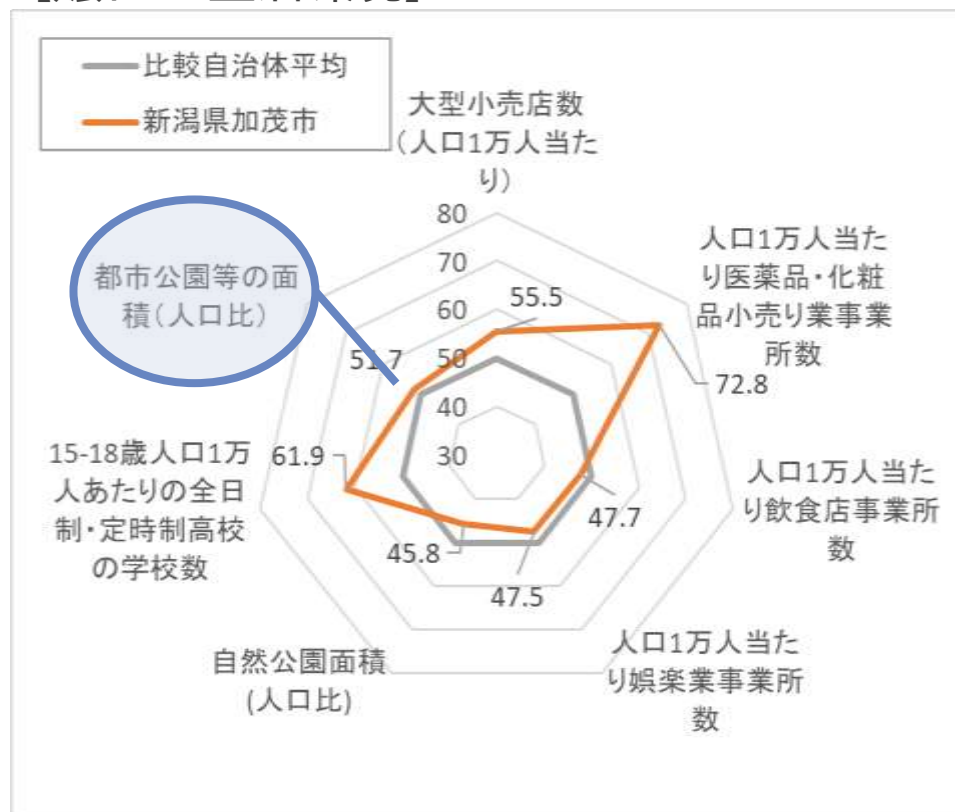
- 休日、夜間に空いている医療機関が少ない
(子育て世帯対象のアンケートで約7割が「少ない」と回答)
- 子どもの衣料品、学用品が購入できる場所が少ない
(同アンケートで約6割が「ほしい」と回答)

4. 調査結果のまとめ

加茂市の強み

自然豊かで広い公園が市内にある

【賑わい・生活環境】



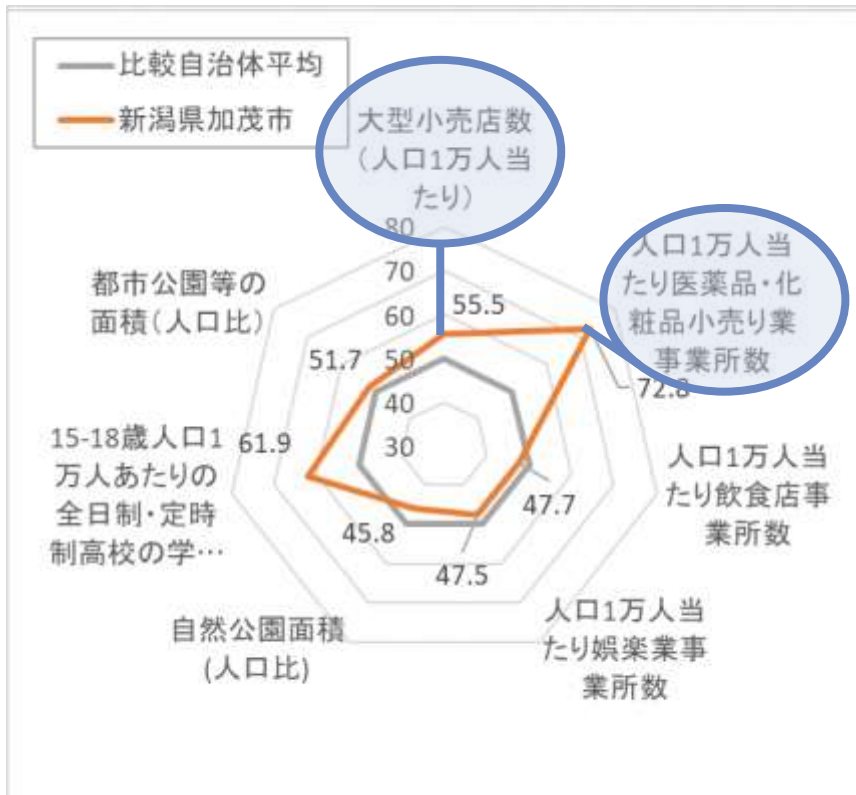
加茂山公園

4. 調査結果のまとめ

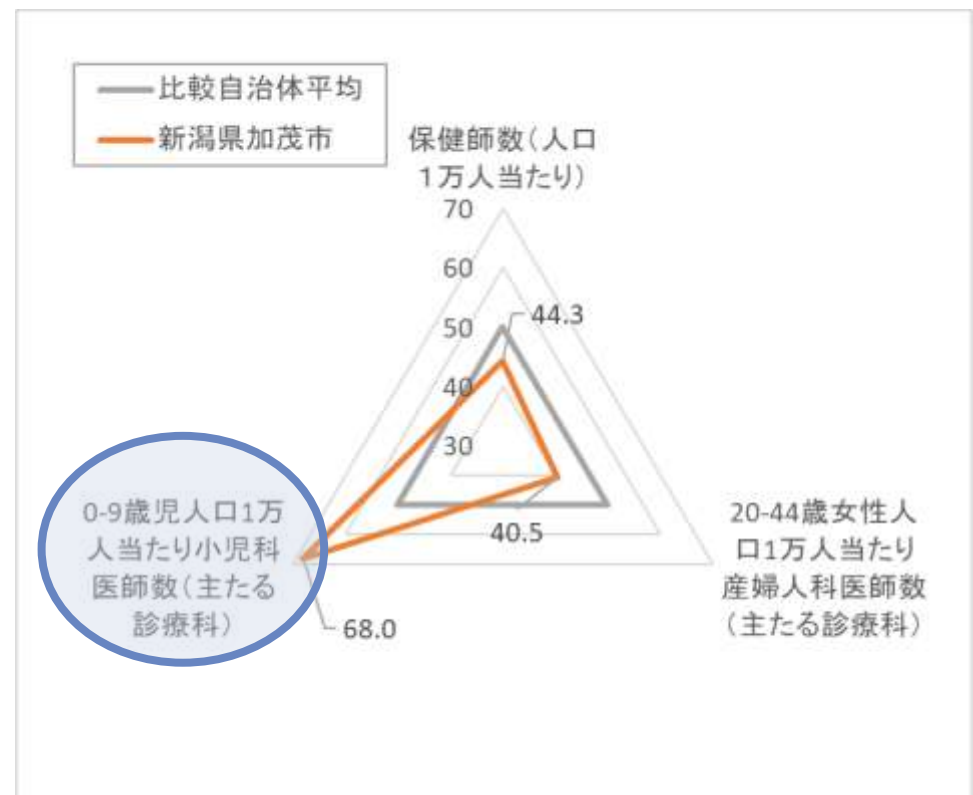
加茂市の強み

大型小売店や医薬品・化粧品小売り店舗の人口比が、県内で比較的多い
また、小児科医師数は、1万人あたり23.2人で県内1位

【賑わい・生活環境】



【医療・保健環境】



5. 調査研究を踏まえた成果（今後の少子化対策案等）

今後の展望（新しい施策への反映）

- **共働きする子育て世帯の支援**

夜間や休日など子どもを預けられるサービスを充実させる

- **仕事と家庭生活の両立支援**

市内企業と協力して、両立支援に取り組む

- **子育て環境の充実**

- 豊かな自然の強みを生かした子どもの遊び場や運動できる広場づくり
- 夜間や休日の医療体制の充実

- **住宅支援**

周辺市町村と比べて値ごろ感のある住宅の提供、支援